

経済成長が続く中国向けに超高速・大容量エレベーターを開発し、中国大陸の最高層ビル“上海環球金融中心”（高さ492 m）に2008年8月納入しました。これは、台湾のTAIPEI101における当社の高い技術力が評価されて受注したもので、今回、海外現法とも連携して据付けを行い、最高級ホテルにふさわしい高い品質と性能を実現しました。

一方国内では、昇降機需要が横ばいとなるなか、既設の古い昇降機を交換するリニューアルビジネスが伸びてきています。中でもコスト面と工期面から、昇降機全体ではなくその一部分だけをリニューアルする方法が年々増加しています。当社は、更に環境面を考慮し、既設の巻上機を残して制御盤だけを交換する方法を開発し、“制御盤リフレッシュ”として2008年8月に市場投入しました。この方法は、既設モータをインバータ駆動することにより乗りごちを格段に向上させるとともに、事前に実施するモータ絶縁診断やサージノイズを吸収するフィルタの開発により品質を確保することができました。また工事も、エレベーター休止期間の大幅な短縮が可能となり、顧客に対して最小限の不便にとどめることができました。

このように顧客の視点に立って、グローバル化の更なる促進とリニューアル事業の拡大を目指して、今後も市場の要求に応えていきます。

取締役 上席常務 原田 豊

● 中国大陸 最高層ビル向け超高速・大容量エレベーター



(a) 超高速エレベーターのかがこ内 (b) 上海環球金融中心
画像提供：森ビル(株)

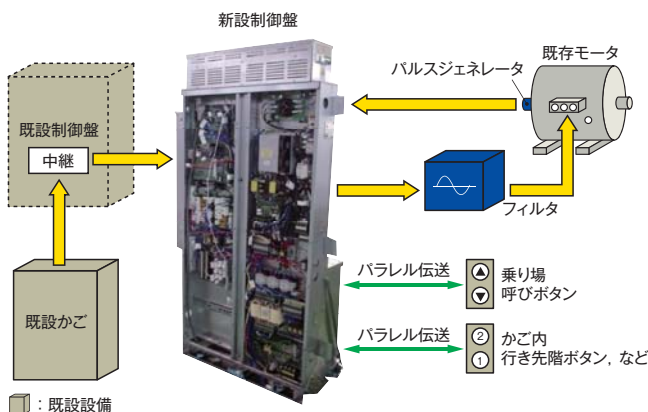
上海環球金融中心向け 超高速エレベーター
Super-high-speed elevator for Shanghai World Financial Center

中国法規に準拠した超高速エレベーターと大容量エレベーターを開発し、中国大陸で最高層^(注)ビルとなる高さ492 mの上海環球金融中心に納入した。内訳は、オフィス向けに階間調整機能付きダブルデッキ方式の大容量エレベーター（36人乗り）8台と、ホテル向けに超高速エレベーター（速度600 m/min）3台の計11台である。

かご整風カプセルやロープ振れ止めなど、台湾 台北市のTAIPEI101向け世界最高速^(注)エレベーターの開発で培った技術を駆使し、振動や騒音の少ない高品位な乗りごちを実現するとともに、地震や強風のときのロープ共振防止運転機能を搭載し、安全性を確保した。これらの世界最高水準の技術力を背景に、中国での更なるシェアアップを図る。

(注) 2008年12月現在、当社調べ。

● 既存エレベーターの性能を短期間で向上させる制御盤リフレッシュ技術



エレベーター制御盤リフレッシュ技術
Overview of elevator control renewal technology

建物資産の適切な維持と管理が求められているなか、エレベーターに対しても、既存設備の安全性や乗りごちの向上につながる短期間、低コストでの機能改善への要望が高まっている。

これに応えるため、既設の制御盤を撤去せずに新しい制御盤を設置し、最新制御技術で走行性能と安全性の向上を図る“制御盤リフレッシュ技術”を開発した。

この技術は、既存のモータや巻上機を再利用するとともに、制御盤を分割型にして工事を容易にすることで1日半程度の短期間で更新でき、エレベーターの休止期間を極力少なくして機能を改善することができる。また、24時間365日にわたり遠隔監視などを行う、現行機種向けメンテナンスサービスも継続して提供される。